

## 深町正信院長記念講演

青山学院理事長 松 澤 建

理事長の松澤でございます。

深町院長先生が6月30日付けで退任されることになり、本日、記念講演を開催するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

先ず、深町院長先生の、これまでの長期間にわたる献身的なお働きに心から敬意を表し、御礼を申し上げる次第であります。

深町院長先生は、お手元の次第にもありますように、1970年に青山学院女子短期大学非常勤講師に就任されて以来38年、1984年には国際政治経済学部教授、そして1990年に青山学院第12代院長に就任されてから、永きにわたり学院の教学の責任者として重責を担ってこられました。

深町院長先生が、『地の塩、世の光』として、青山学院に係る全ての人々を教え導いてくださったこと、また、教育・研究に真摯に取り組まれるお姿には、私のみならず、本日お集まりいただいた皆様方も感謝と尊敬の念を、お持ちいただいていると存じます。また、深町院長先生は、単に青山学院だけでなく、日本のキリスト教会並びにキリスト教学校・大学の為に良きリーダーとしてご指導下さったことは、皆様ご存知の通りであります。

今年は、大学で新しい学部がスタートし、さらに来年も学部・学科の改組が予定されています。また、幼稚園から大学・大学院まで、アカデミック・グランドデザインに基づく諸種の改革に着手し、青山キャンパス再開発も進められる大変重要なこの時期に、深町院長先生がご退任されることは、青山学院にとりまして大きな損失であります。

また、私事ではありますが、私が理事長に就任し、深町院長先生とともに学院の舵取りをするに際して、キリスト教信仰に基づく「建学の精神」を守り、青山学院の歴史と伝統をしっかりと引継ぎながら教育に取り組まれる深町院長先生にお支えていただいたことを、どれ程心強く思ったことでしょうか。この度のご退任は、致仕方ないご事情とはいえ、大変残念であり、私の善き指導者がいなくなるような思いであります。

院長ご退任後は、先ず、お身体に十分留意され、今後とも学院を温かく見守ってくださると同時に、時には叱咤激励して下さったり、学院の更なる充実・発展にご指導・ご協力くださることを、改めてお願い申し上げます。

結びに、これからの深町院長先生と奥様が、より一層主に祝福され、ご健康であられ、主のお恵みのうちにありますよう、心からお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。